

# 実施計画(ダイジェスト版)

(金融機能の強化のための特別措置に関する法律第34条の10)

(金融機能の強化のための特別措置に関する法律第34条の11)



福井銀行



福邦銀行

2024年8月

|      |                                                                        |    |
|------|------------------------------------------------------------------------|----|
| I.   | はじめに                                                                   | 2  |
| II.  | 主として業務を行っている地域における基盤的金融サービスの提供の状況                                      | 5  |
| III. | 基盤的金融サービスを持続的に提供することが困難となるおそれがあることを示す事項                                | 6  |
| IV.  | 事業の抜本的な見直しとして実施する経営基盤の強化のための措置の内容<br>及び計画実施地域における基盤的金融サービスの提供の維持に関する事項 | 9  |
| V.   | 中小規模の事業者に対する金融円滑化、経済の活性化に資する方策                                         | 13 |
| VI.  | 実施計画の適切な実施を図るために必要な経営体制                                                | 14 |
| VII. | 経営基盤の強化のための措置の実施に要する費用、交付を求める当該資金の額                                    | 15 |

# I. はじめに（今回の申請概要）

- 福井県を中心とする地域経済の持続的発展の支援を使命とする福井銀行及び福邦銀行は、北陸新幹線の延伸等地域活性化の機会を最大限に活かし、これまで以上に質の高いサービスを提供することを目的として、2020年3月13日に「地域経済の発展に向けた包括提携」を行いました。
- 2021年10月1日には、シナジー効果の最大化・最速化のため、福邦銀行が実施する第三者割当増資を福井銀行が引き受け、1つの金融グループ（Fプロジェクト）としての運営を開始しました。併せて福邦銀行は「実施計画（2021年10月～2027年3月）」に基づき、経営基盤の強化と基盤的金融サービスの提供の維持に取り組んでおります。
- 2022年4月15日に公表した「FプロジェクトVision 2032」においては、両行グループが目指す10年後のビジョンとして「地域価値循環モデルの実現」を掲げ、現在、グループ役職員を挙げて取り組んでおります。
- 一方で、地域における人口減少等の構造的な問題に加え、足許ではポストコロナ・円安・原材料高など、外部環境は厳しさを増しており、更なる経営基盤強化や持続可能なビジネスモデルを確立するためには、これまでのグループ体制での効果創出には限界があると認識しております。
- このような認識のもと、県内最大の金融グループとして、今後一層の地域価値を創造し、生み出された価値が循環し続ける未来を実現するために、2023年11月10日に両行の段階的な経営統合（2024年10月に福邦銀行を完全子会社とし、2026年5月に合併を予定）を発表しました。本経営統合により、金融サービス業を中心とした伝統的なビジネスモデルからの変革と進化を目指し、今回、福邦銀行の「実施計画」の変更の認定と、両行で策定した新たな「実施計画（2024年10月～2030年3月）」の認定を申請するものです。

# I. はじめに（福邦銀行の実施計画の進捗状況）

## ◆ 基盤的金融サービス収支の進捗状況

### 【計画】

（単位：億円、単位未満四捨五入）

|                       | 2022/3期<br>(2021年度) | 2023/3期<br>(2022年度) | 2024/3期<br>(2023年度) |
|-----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 資金利益<br>(有価証券利息配当金除く) | 42                  | 42                  | 42                  |
| 役務取引等利益               | 2                   | 3                   | 3                   |
| 経費(マイナス表示)            | ▲53                 | ▲52                 | ▲51                 |
| 与信費用(マイナス表示)          | ▲2                  | ▲2                  | ▲2                  |
| 基盤的金融サービス収支           | ▲11                 | ▲10                 | ▲8                  |

### 【実績】

（単位：億円、単位未満四捨五入）

|                       | 2022/3期<br>(2021年度) | 2023/3期<br>(2022年度) | 2024/3期<br>(2023年度) |
|-----------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 資金利益<br>(有価証券利息配当金除く) | 42                  | 43                  | 51                  |
| 役務取引等利益               | 2                   | 3                   | 3                   |
| 経費(マイナス表示)            | ▲52                 | ▲50                 | ▲51                 |
| 与信費用(マイナス表示)          | ▲17                 | ▲9                  | ▲7                  |
| 基盤的金融サービス収支           | ▲25                 | ▲14                 | ▲4                  |

（ご参考）基盤的金融サービス収支＝資金利益－有価証券利息配当金＋役務取引等利益－経費－与信費用  
2024年3月期は福邦銀行への貸付金利息収入（5億円）が含まれております

### 〈進捗状況〉

- ・有価証券運用を福邦銀行に一本化し、中小企業等貸出金へ特化、その結果、資金利益は計画以上に増加
- ・福邦銀行グループ会社と連携したコンサルティング等活動により、役務取引等利益は概ね計画通りに推移
- ・福邦銀行との本部業務統合等にて、福邦銀行本部の共通化・共同化を実施。店舗戦略も9店舗実施し、経費は概ね計画通りに推移
- ・一方で、コロナ禍で影響を受けた取引先への積極支援を行うため、予防的引当を実施。そのため与信費用は計画以上に計上

### 〈総括〉

目指すべきトップライン収益は計画以上に増加するも、地元のお客さま支援のための与信費用が計画以上に増加し、基盤的金融サービス収支はマイナスが続く

## ◆ 経営基盤の強化のための措置の進捗状況

### 【計画】

|               | 措置の概要                                                              |
|---------------|--------------------------------------------------------------------|
| ①システム改修       | (1)情報系システムのクラウド化等<br>(2)福邦銀行との情報系システムの共同化<br>(3)勘定系システムのオープン化への刷新等 |
| ②機器・装置の導入     | (1)タブレット端末等の導入<br>(2)共同ATMの導入<br>(3)アプリ等のソフトウェア等の導入                |
| ③店舗統廃合及び業務効率化 | (1)福邦銀行と重複する店舗の統廃合<br>(2)両行本部機能の共同化・共通化<br>(3)2ブランド強化のための営業部門集約    |

### 【実績】

|               | 措置の概要                                                  |
|---------------|--------------------------------------------------------|
| ①システム改修       | (1)完了<br>(2)複数のシステムを共同化実施<br>(3)未実施                    |
| ②機器・装置の導入     | (1)未実施<br>(2)完了<br>(3)ソフトウェア等の導入あり                     |
| ③店舗統廃合及び業務効率化 | (1)統廃合済み<br>(2)企画・営業・融資除く本部機能の共同化完了・一部共通化完了<br>(3)集約済み |

### 〈進捗状況〉

- ・情報系システムについては、福邦銀行クラウド基盤への移行を2024年3月までに完了し、営業店ネットワークも統合完了。不動産担保評価や経費管理等のシステム共同化を実施。勘定系システムについては現状維持
- ・共同ATM導入にて、両行のATMネットワークを効率化  
一方でタブレット端末等については未導入
- ・店舗戦略において7店舗のBranch in Branch、2店舗の移転（うち1店舗はBank in Bank）を実施し、人員の創出と営業店ネットワークを効率化  
本部の効率化に向けた本部の共同化について、営業・融資・企画以外の部署は完了し、人員創出

### 〈総括〉

勘定系システム除くシステムや店舗戦略、本部機能統合の一部前倒し等にて、経費の削減は計画以上に進む。ただし今後の改善余地は限定的

# I. はじめに（福邦銀行の実施計画の進捗状況）

## ◆ 現状の振り返り

### 地元お客さまへの効果

福井銀行や福井銀行グループ会社（コンサル・事業承継・M&A・リース・カードなど）と連携したコンサルティング機能の発揮

地元含めた中小企業のお客さまへの貸出金残高は計画以上の増加

福邦銀行独自のコンサルティングメニューの展開に加え、  
福井銀行グループとの連携が奏功し、結果的に貸出金の増加にもつながっている



### 見えてきた課題

コロナ禍の長期化や円安等による原材料高騰など、中小企業のお客さまの経営環境は当初想定時より悪化  
2ブランド経営により、福井銀行から福邦銀行への経営資源投入等が限定的

自己資本比率5.80%（2024年3月期）と他行対比低く、投資余力が十分ではない

地域が求める一層の地域金融仲介機能を発揮するために、  
単体でのシステム投資や人的資本への投資は限定的なものにとどまる

## ◆ 課題に向けた対応

### 新たな対応策

#### 【組織再編成】

福井銀行が福邦銀行を完全子会社化（2024年10月予定）し、勘定系システム統合等を図り、両行を合併する（2026年5月予定）



地元含めた中小企業の多様な課題に対する解決力の発揮に向け  
グループ資源を集約し、一層の地元経済活性化を実現する

#### 【新たな実施計画の策定・現行の実施計画の変更】

福邦銀行は、第三者増資割当の引受先を福井銀行とし、金融機能強化法第34条の10第1項第7号（株式の交付）に基づき、2021年9月に実施計画の認定を得て、資金交付制度を利用しているが、今回、同法第34条の10第1項第1号（合併）となることから、実施計画の変更を申請する  
加えて、両行においては、同法第34条の10第1項第1号（合併）に基づき、新たに実施計画を申請する

## Ⅱ. 主として業務を行っている地域における基盤的金融サービスの提供の状況

- 福井銀行は全営業拠点62か店のうち46か店（74.2%）、福邦銀行は同25か店のうち20か店（80.0%）を福井県に配置し、両行ともに営業店の大半を福井県内に配置しております。また、福井県内における預貸金の両行合算シェアは5割超の水準となっております。

### ◆ 両行の営業拠点数（2024年3月末時点）（）はBank in Bank店舗数を含む

|     | エリア             | 福井銀行      | 福邦銀行          | 両行合算          |
|-----|-----------------|-----------|---------------|---------------|
| 福井県 | 福井市内エリア         | 17        | 10            | 27            |
|     | 鯖江・丹南エリア        | 5         | 1             | 6             |
|     | 武生エリア           | 6         | 1             | 7             |
|     | 坂井・嶺北エリア        | 5         | 2             | 7             |
|     | 高志エリア           | 2         | 1             | 3             |
|     | 奥越エリア           | 2         | 1             | 3             |
|     | 敦賀エリア           | 5         | 2             | 7             |
|     | 若狭エリア           | 4         | 2             | 6             |
|     | <b>小計（福井県内）</b> | <b>46</b> | <b>20</b>     | <b>66</b>     |
| その他 | 石川県             | 8         | 0(2)          | 8(10)         |
|     | 富山県             | 3         | -             | 3             |
|     | 東京都             | 1         | -             | 1             |
|     | 大阪府             | 1         | 1             | 2             |
|     | 愛知県             | 1         | -             | 1             |
|     | 京都府             | 1         | 2             | 3             |
|     | 滋賀県             | 1         | -             | 1             |
|     | <b>合計</b>       | <b>62</b> | <b>23(25)</b> | <b>85(87)</b> |

※店舗内店舗及びローン等の専門拠点は含めておりません。

### ◆ 福井県 預金・貸出金シェア（2024年3月末時点）

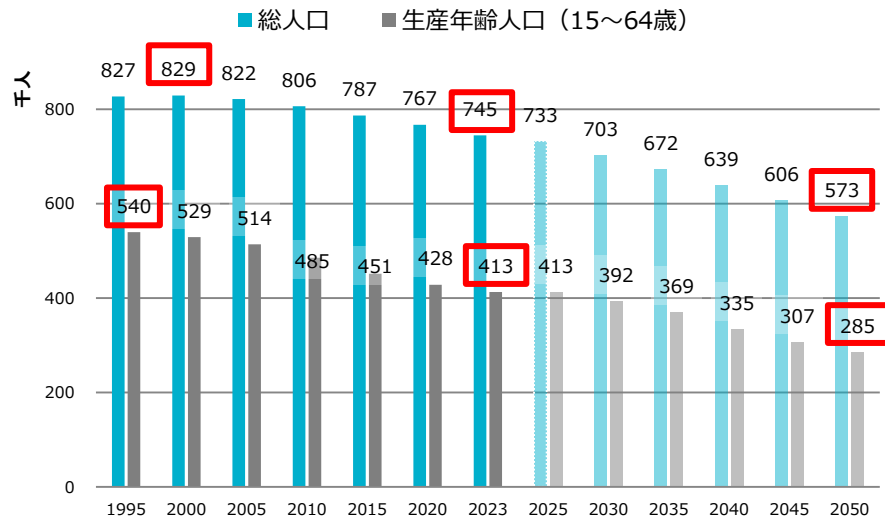
| エリア       | 福井銀行         |              | 福邦銀行        |             | 両行合算         |              |
|-----------|--------------|--------------|-------------|-------------|--------------|--------------|
|           | 預金<br>シェア    | 貸出金<br>シェア   | 預金<br>シェア   | 貸出金<br>シェア  | 預金<br>シェア    | 貸出金<br>シェア   |
| 福井市内エリア   | 50.6%        | 42.3%        | 7.7%        | 9.5%        | 58.4%        | 51.7%        |
| 鯖江・丹南エリア  | 44.8%        | 41.4%        | 5.9%        | 8.5%        | 50.7%        | 49.9%        |
| 武生エリア     | 50.0%        | 31.6%        | 7.3%        | 8.3%        | 57.4%        | 39.9%        |
| 坂井・嶺北エリア  | 49.5%        | 38.7%        | 8.6%        | 12.1%       | 58.1%        | 50.8%        |
| 高志エリア     | 81.0%        | 72.1%        | 8.0%        | 10.3%       | 89.0%        | 82.5%        |
| 奥越エリア     | 34.1%        | 34.4%        | 3.6%        | 4.9%        | 37.7%        | 39.2%        |
| 敦賀エリア     | 42.9%        | 39.2%        | 6.2%        | 7.8%        | 49.1%        | 47.0%        |
| 若狭エリア     | 49.3%        | 46.5%        | 9.9%        | 16.3%       | 59.2%        | 62.7%        |
| <b>合計</b> | <b>48.6%</b> | <b>40.8%</b> | <b>7.3%</b> | <b>9.5%</b> | <b>55.9%</b> | <b>50.3%</b> |

出典：日本金融通信社「金融機関データ」  
（地方銀行、第二地方銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫におけるシェア）

### Ⅲ. 基盤的金融サービスを持続的に提供することが困難となる おそれがあることを示す事項

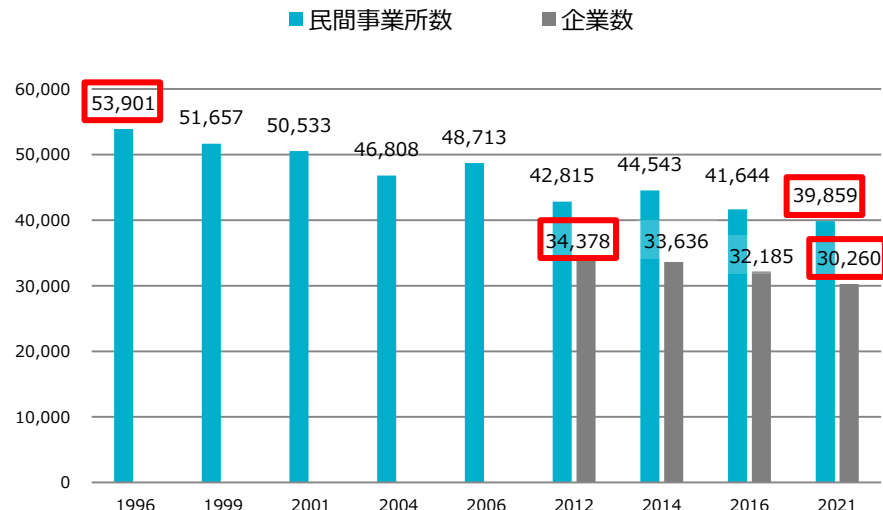
- 福井県の人口は、2000年の829千人をピークに、以降減少が継続しております。また、事業所数についても、1996年の53,901事業所数から減少傾向にあることから、貸出や預金をはじめとする基盤的金融サービスに係る需要が将来においても継続的に減少していく可能性が極めて高いものとなっております。

#### ◆ 福井県の人口推移と将来推計



出典：福井県「毎月人口異動調査」（2023年）及び総務省「国勢調査」（1995年～2020年）及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口（2023年推計）」（2025年～2050年）より福井銀行・福邦銀行作成

#### ◆ 福井県の民間事業所数・企業等数推移



出典：総務省「事業所・企業統計調査」（1996～2006年）及び総務省「経済センサス-基礎調査・活動調査」（2012～2021年）より福井銀行・福邦銀行作成

### Ⅲ. 基盤的金融サービスを持続的に提供することが困難となる おそれがあることを示す事項

- 両行とも、北陸新幹線延伸等に伴う資金需要の増加に対して、積極的な資金繰り支援により貸出金を増加させてまいりましたが、営業経費を賄う十分な収益確保に至らず、また両行による取引先への積極支援に向けた予防的引当の計上により、基盤的金融サービスに係る収支は両行赤字の状態が続いております。

#### ◆ 基盤的金融サービスに係る収支の定義

資金利益(有価証券利息配当金除く) + 役務取引等利益 + その他業務利益(国債等債券損益除く) - 営業経費(退職給付含む) - 与信費用

#### ◆ 福井銀行の基盤的金融サービスに係る収支の推移

(単位：億円、単位未満四捨五入)

|                        | 2020/3期<br>(2019年度) | 2021/3期<br>(2020年度) | 2022/3期<br>(2021年度) | 2023/3期<br>(2022年度) | 2024/3期<br>(2023年度) |
|------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 資金利益<br>(有価証券利息配当金除く)  | 150                 | 160                 | 168                 | 164                 | 179                 |
| 役務取引等利益                | 28                  | 24                  | 30                  | 29                  | 34                  |
| その他業務利益<br>(国債等債券損益除く) | 1                   | 1                   | 1                   | 2                   | ▲3                  |
| 営業経費(マイナス表示)           | ▲210                | ▲217                | ▲215                | ▲207                | ▲224                |
| 与信費用(マイナス表示)           | ▲20                 | ▲15                 | ▲22                 | ▲8                  | ▲7                  |
| 基盤的金融サービスに係る収支         | ▲52                 | ▲46                 | ▲38                 | ▲19                 | ▲22                 |

#### ◆ 福邦銀行の基盤的金融サービスに係る収支の推移

(単位：億円、単位未満四捨五入)

|                        | 2020/3期<br>(2019年度) | 2021/3期<br>(2020年度) | 2022/3期<br>(2021年度) | 2023/3期<br>(2022年度) | 2024/3期<br>(2023年度) |
|------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 資金利益<br>(有価証券利息配当金除く)  | 41                  | 42                  | 42                  | 43                  | 51                  |
| 役務取引等利益                | 3                   | 1                   | 2                   | 3                   | 3                   |
| その他業務利益<br>(国債等債券損益除く) | ▲4                  | ▲1                  | ▲2                  | ▲1                  | 3                   |
| 営業経費(マイナス表示)           | ▲56                 | ▲54                 | ▲52                 | ▲51                 | ▲51                 |
| 与信費用(マイナス表示)           | 2                   | ▲6                  | ▲17                 | ▲9                  | ▲7                  |
| 基盤的金融サービスに係る収支         | ▲14                 | ▲18                 | ▲27                 | ▲15                 | ▲1                  |

### Ⅲ. 基盤的金融サービスを持続的に提供することが困難となる おそれがあることを示す事項

- 今後の見込みとして、両行とも「2ブランド維持した場合」、貸出金利回りの改善・コンサルティング収益の増加等で資金利益（有価証券利息配当金除く）・役務取引等利益は両行合算で微増となっております。
- 経費削減に取り組んでいくものの、「2ブランド維持した場合」、一層の経費削減は困難であり、基盤的金融サービスに係る収支は両行合算で赤字が継続する見込みとなっており、基盤的金融サービスを将来に亘って持続的に提供することが困難になる可能性があります。

#### ◆ 福井銀行の基盤的金融サービスに係る収支の推移（2ブランド維持した場合）

（単位：億円、単位未満四捨五入）

|                        | 2025/3期<br>(2024年度) | 2026/3期<br>(2025年度) | 2027/3期<br>(2026年度) | 2028/3期<br>(2027年度) | 2029/3期<br>(2028年度) | 2030/3期<br>(2029年度) |
|------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 資金利益<br>(有価証券利息配当金除く)  | 187                 | 186                 | 187                 | 188                 | 186                 | 186                 |
| 役務取引等利益                | 32                  | 34                  | 35                  | 37                  | 39                  | 39                  |
| その他業務利益<br>(国債等債券損益除く) | ▲5                  | ▲5                  | ▲6                  | ▲8                  | ▲6                  | ▲6                  |
| 営業経費(マイナス表示)           | ▲219                | ▲219                | ▲215                | ▲217                | ▲215                | ▲214                |
| 与信費用(マイナス表示)           | ▲5                  | ▲12                 | ▲14                 | ▲14                 | ▲14                 | ▲14                 |
| 基盤的金融サービスに係る<br>収支     | ▲10                 | ▲16                 | ▲13                 | ▲13                 | ▲9                  | ▲8                  |

#### ◆ 福邦銀行の基盤的金融サービスに係る収支の推移（2ブランド維持した場合）

（単位：億円、単位未満四捨五入）

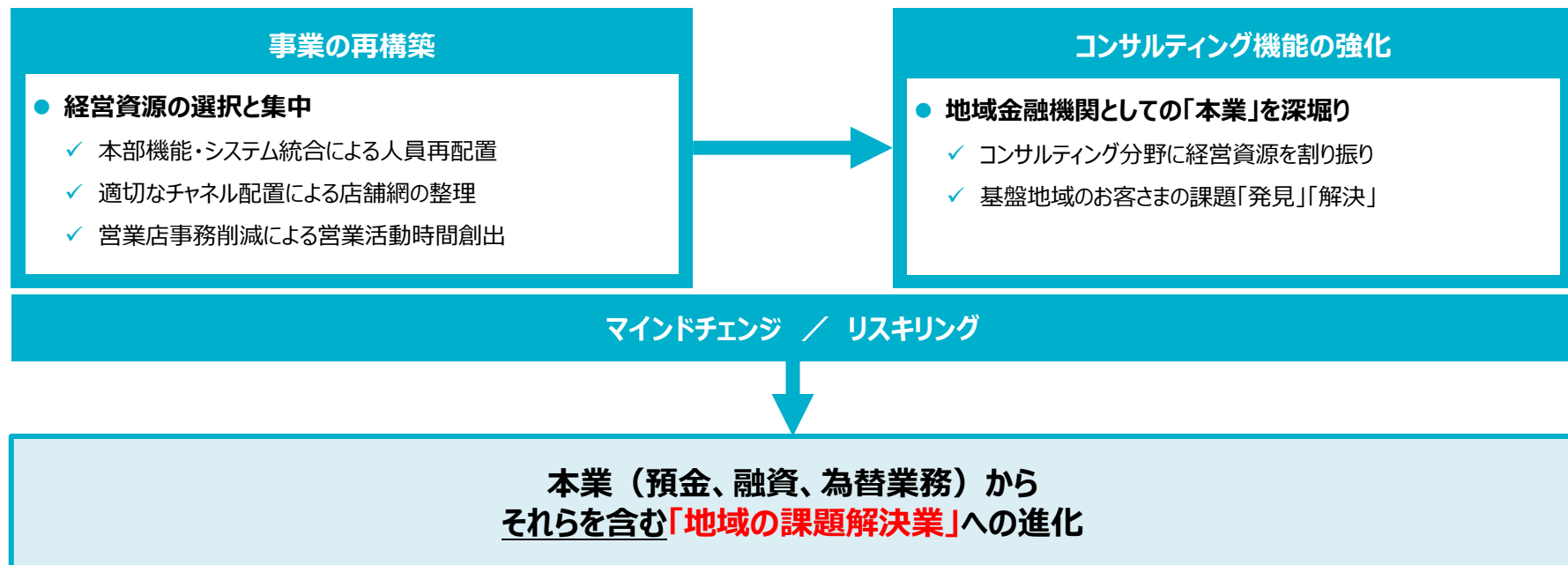
|                        | 2025/3期<br>(2024年度) | 2026/3期<br>(2025年度) | 2027/3期<br>(2026年度) | 2028/3期<br>(2027年度) | 2029/3期<br>(2028年度) | 2030/3期<br>(2029年度) |
|------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 資金利益<br>(有価証券利息配当金除く)  | 47                  | 48                  | 49                  | 49                  | 49                  | 49                  |
| 役務取引等利益                | 2                   | 2                   | 2                   | 2                   | 2                   | 2                   |
| その他業務利益<br>(国債等債券損益除く) | 0                   | 0                   | 0                   | 0                   | 0                   | 0                   |
| 営業経費(マイナス表示)           | ▲51                 | ▲51                 | ▲51                 | ▲51                 | ▲51                 | ▲51                 |
| 与信費用(マイナス表示)           | ▲3                  | ▲3                  | ▲3                  | ▲3                  | ▲3                  | ▲3                  |
| 基盤的金融サービスに係る<br>収支     | ▲5                  | ▲4                  | ▲3                  | ▲3                  | ▲3                  | ▲3                  |

※上記資金利益は福井銀行への貸付金利息収入を除いております

#### Ⅳ. 事業の抜本的な見直しとして実施する経営基盤の強化のための措置の内容及び計画実施地域における基盤的金融サービスの提供の維持に関する事項

- 福井銀行と福邦銀行は2023年11月に経営統合を発表し、両行の合併に向けて協議・検討を進めております。
- 経営統合シナジーの早期実現と両行の人的資本の活用により、基盤的金融サービスの提供を維持するとともに、事業領域を拡大することで「地域の課題解決業」としての進化を遂げてまいります。

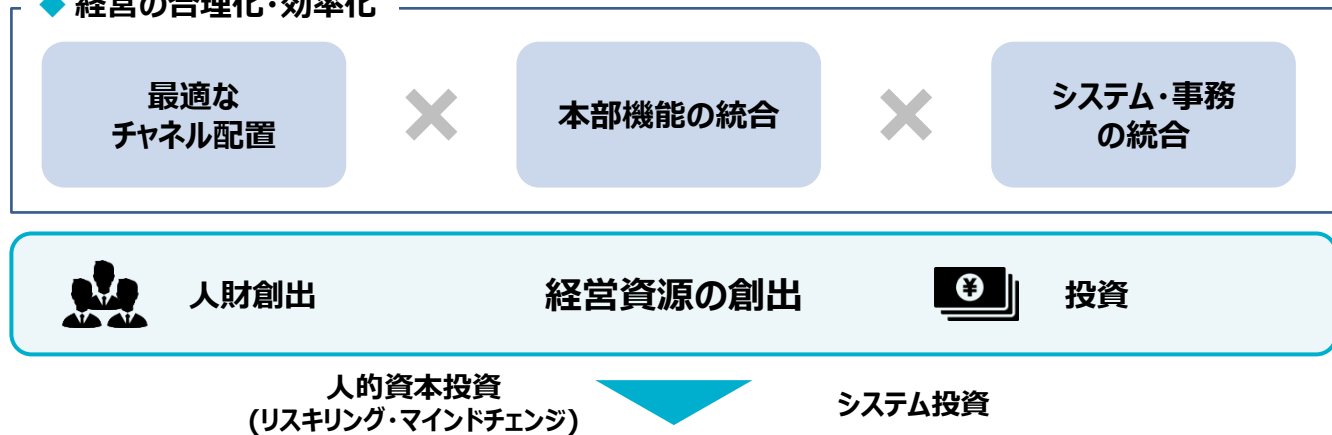
##### ◆ 事業の改善に係る方策



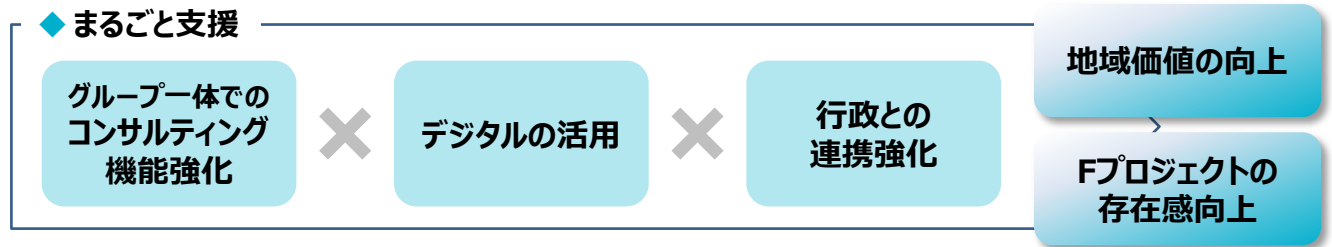
#### Ⅳ. 事業の抜本的な見直しとして実施する経営基盤の強化のための措置の内容 及び計画実施地域における基盤的金融サービスの提供の維持に関する事項

- 経営統合と将来的な両行の合併により、事務・システムの統一化や地域内で重複する店舗統廃合等の措置を講じることで、経営効率を向上させ人財を創出いたします。
- 経営効率の向上により創出した人財のみならず、グループ内人財のリスキング・マインドチェンジを通じて戦略分野に配置可能な人財を増やし、同分野に再配置することで、中長期目線で人的資本の強化にも取り組んでまいります。

##### ◆ 経営の合理化・効率化

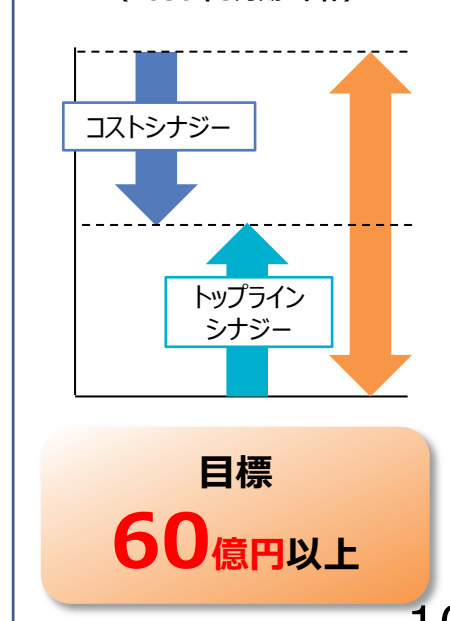


##### ◆ まるごと支援



##### ◆ シナジー合計

(2030年3月期・単体)

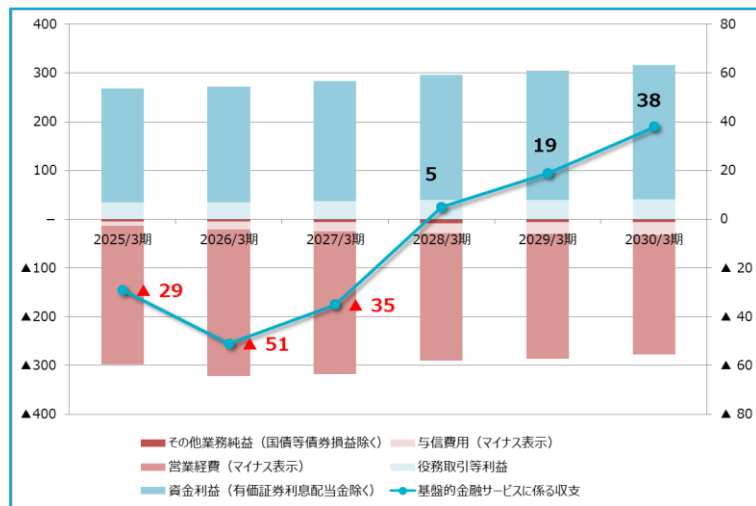


## Ⅳ. 事業の抜本的な見直しとして実施する経営基盤の強化のための措置の内容 及び計画実施地域における基盤的金融サービスの提供の維持に関する事項

- 経営統合・合併によるシナジー効果の早期発揮により基盤的金融サービスに係る収支の改善を図り、地域に対して安定的かつ持続的な基盤的金融サービスの提供に努めてまいります。
- 基盤的金融サービスに係る収支の見込みは、両行の合併後となる予定の2027年3月期以降はトップラインシナジーとコスト面におけるプラスシナジーが本格的に発揮され始めることで改善に向かい、計画終期の2030年3月期には38億円の黒字を見込んでおります。

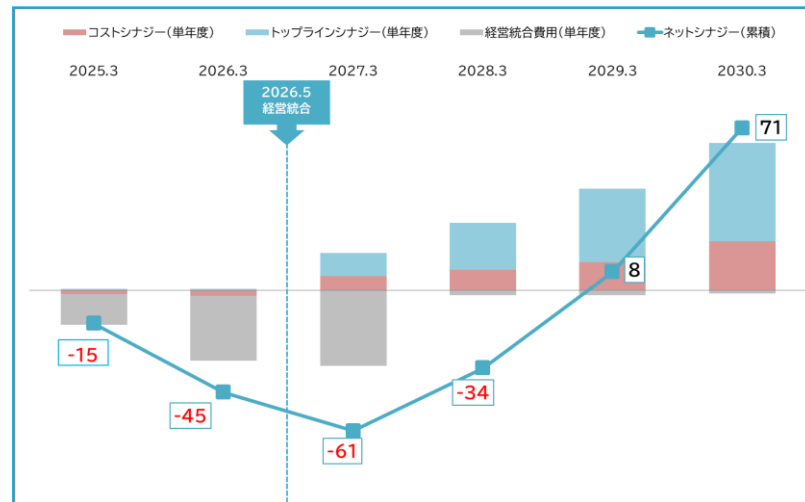
### ◆ 基盤的金融サービスに係る収支の見込み

(単位：億円、単位未満四捨五入)



### ◆ シナジー効果全体の見通し

(単位：億円、単位未満四捨五入)



※ 上記計数は連結子会社含めたグループ全体の計数となります

# IV. 事業の抜本的な見直しとして実施する経営基盤の強化のための措置の内容 及び計画実施地域における基盤的金融サービスの提供の維持に関する事項

- 「2ブランド維持」・「合併」した場合での基盤的金融サービスにかかる収支見通しは下記のとおりです。
- 「合併」の場合、2026年5月予定のため、2026年度まで合併に伴う投資等のコスト負担にて赤字となりますが、2027年度以降に黒字化し、基盤的金融サービスを持続的に提供することが可能となり、「地域価値循環モデル」の実現につながてまいります。

## ◆ 両行の基盤的金融サービスに係る収支の推移（2ブランド維持した場合）

（単位：億円、単位未満四捨五入）

|                        | 2025/3期<br>(2024年度) | 2026/3期<br>(2025年度) | 2027/3期<br>(2026年度) | 2028/3期<br>(2027年度) | 2029/3期<br>(2028年度) | 2030/3期<br>(2029年度) |
|------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 資金利益<br>(有価証券利息配当金除く)  | 234                 | 234                 | 235                 | 236                 | 235                 | 235                 |
| 役務取引等利益                | 34                  | 36                  | 37                  | 39                  | 41                  | 41                  |
| その他業務利益<br>(国債等債券損益除く) | ▲5                  | ▲5                  | ▲6                  | ▲8                  | ▲6                  | ▲6                  |
| 営業経費(マイナス表示)           | ▲270                | ▲270                | ▲266                | ▲268                | ▲266                | ▲265                |
| 与信費用(マイナス表示)           | ▲8                  | ▲15                 | ▲17                 | ▲17                 | ▲17                 | ▲17                 |
| 基盤的金融サービスに係る<br>収支     | ▲15                 | ▲21                 | ▲17                 | ▲17                 | ▲13                 | ▲12                 |

※上記計数は両行単体の単純合算にて作成

## ◆ 両行の基盤的金融サービスに係る収支の推移（合併した場合）

（単位：億円、単位未満四捨五入）

|                        | 2025/3期<br>(2024年度) | 2026/3期<br>(2025年度) | 2027/3期<br>(2026年度) | 2028/3期<br>(2027年度) | 2029/3期<br>(2028年度) | 2030/3期<br>(2029年度) |
|------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 資金利益<br>(有価証券利息配当金除く)  | 234                 | 237                 | 246                 | 257                 | 265                 | 275                 |
| 役務取引等利益                | 34                  | 35                  | 37                  | 39                  | 40                  | 41                  |
| その他業務利益<br>(国債等債券損益除く) | ▲5                  | ▲5                  | ▲6                  | ▲8                  | ▲6                  | ▲6                  |
| 営業経費(マイナス表示)           | ▲285                | ▲301                | ▲293                | ▲261                | ▲256                | ▲245                |
| 与信費用(マイナス表示)           | ▲8                  | ▲16                 | ▲19                 | ▲21                 | ▲24                 | ▲27                 |
| 基盤的金融サービスに係る<br>収支     | ▲29                 | ▲51                 | ▲35                 | 5                   | 19                  | 38                  |

## V. 中小規模の事業者に対する金融円滑化、経済の活性化に資する方策

- 経営統合により、地域最大の金融グループ（県内シェア50%超）としての**責任・役割・期待**が高まっております。
- 地域のお客さまへの「まるごと支援」の方針を掲げ、「地域の課題解決業としての進化」と「地域価値循環モデルの実現」に努めます。

### ◆お客さまへの支援方針

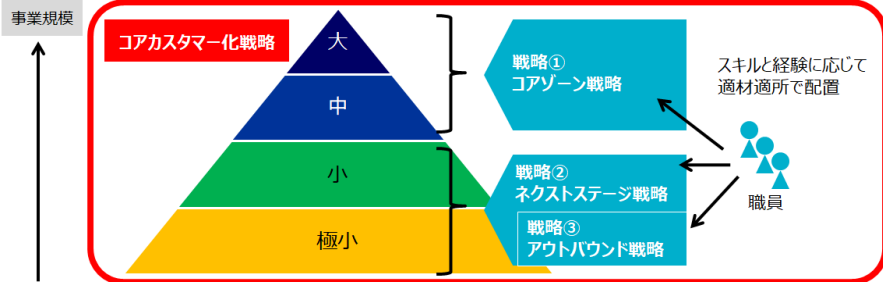
## まるごと支援

### 地域まるごと支援

地域のすべてのお客さまが対象

### 課題まるごと支援

お客さまを起点とした幅広い課題を支援



※お客さまへの一体対応に向け、両行共通でのエリア設定とし、エリア内の指揮命令系統の整理とグループ共通目標を設定し、運用開始（2024年4月～）

### 変えていく営業体制（合併を見据えて）

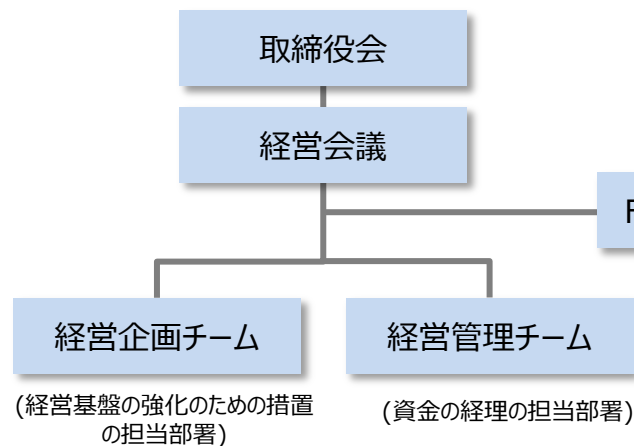
- ・戦略①：福井銀行の強み（組織力・課題解決力）の発揮  
産業・雇用面で中核的な存在のお客さまの経営課題に伴走支援する。  
多様な課題解決スキルの人財増加とグループ会社提案力を高める。
- ・戦略②：福邦銀行の強み（伴走力・原則支援スタンス）を融合  
事業性理解を深め、真の課題発見に取り組む。  
職員のスキルアップによるコアゾーン人財を多く輩出していく。
- ・戦略③  
福邦銀行強みであるコールセンターによるお客さま支援を両行のお客さまに展開。  
銀行内部担当者の営業経験機会の場として活用する。

## 地域の課題解決業としての進化

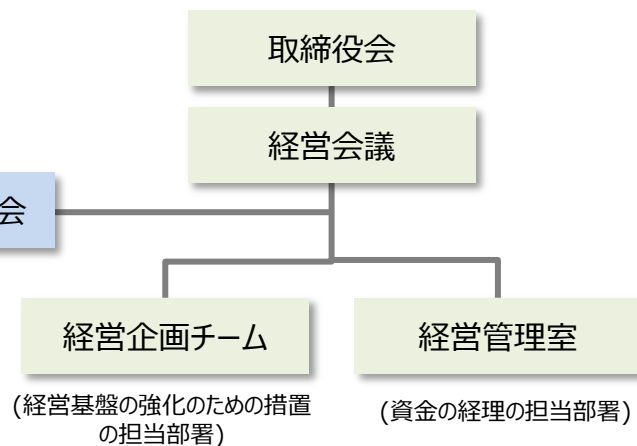
## VI. 実施計画の適切な実施を図るために必要な経営体制

- 本実施計画の進捗管理については、両行の経営会議及び取締役会、両行の頭取が参加するFプロジェクト推進委員会への定例的な報告を通じて実施してまいります。
- 資金の交付を受けて実施しようとする経営基盤の強化のための措置の担当部署は、両行の経営企画グループ経営企画チームといたします。
- 交付を受けた資金の経理の担当部署は、福井銀行においては経営管理グループ経営管理チーム、福邦銀行においては経営管理室といたします。
- 両行合併後の担当部署については、合併銀行の組織体制の検討と併せて検討してまいります。

### ◆ 福井銀行の経営体制



### ◆ 福邦銀行の経営体制



## Ⅶ. 経営基盤の強化のための措置の実施に要する費用、 交付を求める当該資金の額

- 経営基盤の強化のための措置として、基幹系システムの統合や周辺システムの共通化、店舗統廃合、合併時のお客さま向け周知等を行います。
- 経営基盤の強化のための措置の実施に要する費用の総額は11,154百万円（消費税及び地方消費税相当額含む）、資金交付の対象となる経費の総額は10,140百万円、機構に交付を求める予定の資金の総額は2,767百万円を予定しております。

| 措置の名称 |           | 経営基盤の強化のための措置の<br>実施に要する費用 | 交付対象経費          | 機構に交付を求める<br>予定の資金の額 |
|-------|-----------|----------------------------|-----------------|----------------------|
| ①     | システム改修    | 8,143,267,000円             | 7,402,970,000円  | 2,200,000,000円       |
| ②     | 機器・装置の導入  | 1,694,000,000円             | 1,540,000,000円  | 367,920,968円         |
| ③     | 店舗統廃合     | 772,530,000円               | 702,300,000円    | 100,000,000円         |
| ④     | 合併・経営統合関連 | 544,830,000円               | 495,300,000円    | 100,000,000円         |
| 合計    |           | 11,154,627,000円            | 10,140,570,000円 | 2,767,920,968円       |

（ご参考） 2024年3月期分までの福邦銀行に対する資金交付額は232,079,032円となります。

*F*プロジェクト  
Future for Fukui &  
Fukuibank & Fukuhobank



福井銀行



福邦銀行